



学校だよりの



板野東小学校の桜がピンチ！

板野東小学校のサクラが、次から次へと「クビアカツヤカミキリ」に襲われています。クビアカツヤカミキリは、幼虫がサクラやウメ、モモ、カキなどの樹木の中に入り込み、木の内部を食い荒らしてしまう外来昆虫です。住みつかれた木は、衰弱し、やがて枯れてしまいます。板野町や上板町を中心に広がりを見せ、板野東小学校では、4～5年前から被害に遭っています。すでに、体育館北側のサクラの木が、被害にあい、枯れてしまったため、4本伐採をしています。右上の写真のようなカミキリムシや右下の写真の矢印のところにあるような大量のフラス（幼虫のフンと木くずが混ざったもの）を見つけた場合は、**病害虫防除所(Tel088-674-1954)**にお知らせ下さい。



全体が光沢のある黒色で、胸部は赤色。



また、6月5日（日）にクビアカツヤカミキリ防除講習会が板野東小学校で開かれました。講習会では、クビアカツヤカミキリの生態や被害の発生状況や防除のためのネットを覆い被せる方法を教えていただきました。



○被害にあった学校のサクラ（体育館北側）



被害にあったサクラです。矢印の先にある穴が、カミキリムシがあけた穴です。被害にあった時には、「フラス」という大量の幼虫のフンと木くずが混ざったものが、木のまわりに落ちていました。

○防除ネットを巻き付けたサクラ（運動場の南側）



板野東小学校では、運動場南側のサクラと幼稚園の駐車場にあるサクラに、クビアカツヤカミキリが住みついている跡があるので羽化した成虫が分散しないよう防除ネットをしました。